

市議会だより

第31号 平成25年 2013 2月1日発行

発行/由利本荘市議会
 編集/議会報編集特別委員会
 〒015-8501 秋田県由利本荘市尾崎17番地
 電話/0184-24-6386
 FAX/0184-27-1793
 Eメール
 gikai@city.yurihonjo.akita.jp



未来に羽ばたけ新成人 (1月13日・成人式)

平成24年 第4回市議会定例会 (12月)

一般質問

佐々木隆一 議員、堀川喜久雄 議員	2 P
伊藤 岩夫 議員、佐藤 勇 議員	3 P
村上 亨 議員、本間 明 議員	4 P
土田与七郎 議員、作佐部 直 議員	5 P

その他

常任委員会報告 (Q & A)	6 P
定例会内容など	8 P
議長公務・交際費報告など	10 P
各議員連盟活動報告など	11 P
市民の声、編集後記など	12 P

議会基本条例案についてのパブリックコメントを募集します (詳しくは12ページ裏表紙をご覧ください)

市民の声



一年を振り返る

矢島地域 村上 與一

昨年も異常気象の影響か、各地で自然の猛威によって壊滅的な被害を受け、家屋の浸水・防波堤の決壊による田畑への泥ゴミの流入など、見るに無残な光景が年々増えて行く様に感じる。回復には相当な時間・労力・費用が掛かる事を思うとき、東日本大震災の復旧・復興だけが表面化してしまうのが同等な人々もいる事を忘れてはいけない。当地域でも震災のガレキ処理が本格的に開始となる。現地周辺の方々も諸手を上げて賛成とは思えず、市当局には状況の変化に迅速な情報公開を怠ることなく、他市町村の模範になるべき対応をお願いしたい。それが心配されておられる方々に対する対応であり、同時に口先だけの復興支援でない事を行動で示されることで評価したいと思う。

昨年最後の話題は、衆議院議員総選挙であろう。「政権選択が焦点」で消費税増税・TPP参加の是非・景気対策などで論戦が繰り広げられたが、我々は地域経済の停滞で雇用が最もな関心事。下請会社への取引契約解除数百人規模が対象になるとの報道。今度は雇用情勢が好転する事を期待したいと思う。私の旧町でも人口の減少に歯止めが利かない状況の中で、今一番の課題は冬の除雪対策と思う。除雪は重労働であり、年配になると積雪について行けないことから、地域一体となり、課題を克服しながら一生涯暮らせる住みやすい町・住みたい地域を目指したい。

年4回発行/印刷所 由利印刷

議会基本条例(案)に関するパブリックコメントの募集について

当委員会では、これまで4名減の議員定数条例の制定、代表質問、一般質問への一問一答方式の導入などを提言し、現在それに沿った形で議会が運営されております。

このたび、これまでの検討項目の集大成として、議会基本条例案を取りまとめましたので、市民の皆様方にお知らせ致しますと共に、ご意見を募集致します。議会改革委員会

- 公表資料 「由利本荘市議会基本条例(案)」(4ページ分別紙のとおり) 市ホームページでも公表しています。
- 募集期間 平成25年2月1日(金)から平成25年2月28日(木)まで
- 提出方法 (1)郵送 〒015-8501 由利本荘市議会事務局 (2)持参 市役所4階 議会事務局 (3)電子メール gikai@city.yurihonjo.akita.jp (4)ファックス 0184-27-1793
- 提出様式 様式は任意といたしますが、下記事項を必ずご記入ください。(1)住所・氏名・電話番号 (2)意見を応募する条項(第 条 など)
- 対象者 由利本荘市に住居登録をしている個人
- その他 匿名、電話でのご意見に対する聞き取りは行いません。

新たに設置された
特別委員会の構成

国療跡地利活用特別委員会
 (委員長 堀川喜久雄 副委員長 三浦秀雄)

佐々木隆一 議員、堀川喜久雄 議員、三浦秀雄 議員、伊藤岩夫 議員、佐藤勇 議員、村上亨 議員、本間明 議員、土田与七郎 議員、作佐部直 議員

編集後記

年の瀬に、慌ただしく開催された衆議院議員総選挙が終わり新たな政権が発足しました。争点は「消費税」「TPP」「原発」と大きく3点に絞られました。私たちの生活には多くの問題や課題が山積しています。新政権そして新たに選出された国会議員の皆様には、是非とも奮闘していただきたく切望します。

私たちが市議会も役割と責務を明確にし、さらに市民の負託に答えられる議会を目指して「由利本荘市議会基本条例」の制定へ向け、協議を重ねています。今年も昨年同様、岩の上で体を温めてから動き出すへびは、動き出すまでには時間を要しますが、動き出すと効率よくキビキビ動く。私たちがへびを見習い、慌てずに、じっくり考えてから機敏に動く、そんな1年にしたいものです。(貴)

市政に対する

一般質問

本市の生活保護の動向は

会派 日本共産党
佐々木 隆 一議員



質問 生活保護の受給者が、213万人になったのは財界主導の「構造改革」路線によって多くの人が職を失い非正規雇用と低賃金労働者を大量に生み出した結果であり、人々を貧困に突き落としとしてその人たちが最低限生きられる「最後の安全網」をズタズタにするのは本末転倒である。
今回の制度改悪案は、家族の扶養義務を強めるなど憲法

の理念を覆すものであり、次の国会に法案を提出する構えである。
本市での生活保護の相談件数、申請件数、開始件数、受給世帯は、

質問 政府が生活保護法の改悪に乗り出したことは重大である。生活保護基準額の引き下げは、住民税の非課税限度額とも連動しているため、基準額が下がれば今まで無税だった低所得者の人にも税金がかかり、保育料、国保税、介護保険料の負担や就学援助が

一般質問は12月6日・7日の2日間にわたって行われ、8人の議員が市政全般にわたる諸問題を取り上げ、当局の所信や見解をたどりました。各議員の主な質問と答弁の要旨は次の通りです。
内容は、一般質問時点のものです。

打ち切られる世帯も増加する市長の見解は。

答弁 生活保護業務が法定受託事務であり、今後の議論を注視し、同法の目的である「最低限度の生活」の保障と併せ「受給者の自立」の助長を図るため今後とも適正、公平な保護の実施に努めていく。



市長選出馬の意思は

会派 創風
堀川 喜久雄 議員



質問 自己評価と市長選出馬の意思及び二期目への思いは。
答弁 26項目からなる公約の大方を実現できた。市民の笑顔輝く活力あるまちづくりに向かい、先頭に立ち市の未来を切り開いていきたい。

質問 総合発展計画の見直しは。
答弁 次期計画は仮称「新しいまちづくり検討委員会」を開催し、市民と共に作り上げていきたい。

質問 羽越本線高速化は焦点を絞りたい。
答弁 線形改良や新型車両の導入の他、路盤改良や秋田県側3両編成での運行など新たな提案もあり、新潟・庄内同

盟と協議し要望していく。
質問 空き家の実態調査を。
答弁 他自治体の取り組み事例を調査したい。データのない本荘・西目地域の町内会長に情報提供を願い、これを基に実態調査を行う。

質問 桑ノ木台湿原の保護と開放の課題について。
答弁 盗掘の監視体制は自然公園管理員が随時巡回、バス利用者には乗車時注意喚起している。乾燥化については由利森林管理署でモニタリングすることとしている。

質問 グラウンドの飛砂対策は。
答弁 施設の状況により芝生化や散水設備の充実、防風ネット設置、粘土やシルト分の表面処理などそれぞれの施設に適した対策を検討したい。

質問 第3セクター育成支援は。
答弁 経営安定に必要な支援と指導を行う。利用料金設定や指定管理料見直しなど経営側の裁量範囲拡大を含め持続可能な枠組み作りを急ぎたい。

市のインフラ整備について

会派 公明党
伊藤 岩 夫 議員



質問 地域の防災・減災対策のインフラ整備が重要視される。社会資本の老朽化に対する防災力の低下も問題視されている。現状の不況克服策を絡め、公共投資としてのインフラ整備が増大するものと思われる。こうした国の社会資本整備の動向に関して、本市のインフラ整備についてどのようなことを考えているか。

答弁 国の「社会資本整備重点計画」を踏まえ、事業の必要性を十分に検討しながら、「市民の安心・安全な生活」や「地域の活性化」などに必要なインフラ整備に努める。
質問 市と市民の信頼関係は、まちの活性化や住みよいまち



急がれるインフラの防災・減災整備

づくりの観点から非常に重要である。したがって、市民に一番近い、インフラ関係の要望には、早期の実現を目指す。市の取組姿勢を示すべきと考える。市の地域別町内会要望事項に対する取組みを伺う。
答弁 各町内会からの要望事項については、秘書課を窓口として一元的に受け付け、各所管において早期の実現に向けて逐次対応に努めている。緊急を要する事項やすぐに実現できる要望については、迅速な対応を心がけているが、特に予算規模が大きく、年数のかかる事業などについては、各部長や総合支所長から直接ヒアリングを行い、地区ごとにこれまでの経緯や事業の重要性、優先順位などを検討しながら予算化し、その実現に努力していく。

本荘清掃センター 基幹改良事業費見積は高くないか

会派 市民クラブ
佐藤 勇 議員



質問 ごみ処理施設整備（大規模基幹改良）の試算26億円は高い見積でないか。
1年以内に大規模基幹改良に着手した全国4市とのデータ比較では、本市の事業費、当たり価格が平均の2倍以上となる。また合併特例債と循環型社会形成推進交付金対象相当部分の対比や試算額をどう検討されたのか。

答弁 基幹改良事業では、「精密機能検査」によるメーカー見積もりにも専門業者が精査を加え算定した。24時間運転化に伴う更新費用が大きな割合と見る。国の交付金が25%、他は合併特例債などを充当する。

質問 公の施設の耐震化について27年度まで100%目標としているが進捗率は。
答弁 公共施設59箇所の内、小・中学校を含む46施設は改築や統廃合で対応を終了し、進捗率78%である。未実施施設は矢島福祉会館、南内越公民館など8施設であり、25、26年度の耐震診断計画である。なお石脇体育館、由利体育館及び石沢体育館の補強実施に加え、他も必要に応じ実施する。

質問 矢島総合支所改築の進め方は。
答弁 改築に向け、来年度から地質調査などを進めていく。
質問 25年1月工期の総合支所庁舎の耐震診断について。
答弁 由利総合支所庁舎は結果がまだであり、大内総合支所庁舎は改修必要との内報を受けた。

質問 歩道整備について、請願書が採択された矢島下郷線の歩道設置の対応は。
答弁 次期総合発展計画策定時に検討する。

議会の動き

10月

- 2日* 北海道北見市議会行政視察
- 3日* 議会報編集特別委員会
- 11日* 教育民生常任委員会協議会
- 12日* 議会報編集特別委員会
- 15日* 東京都青梅市議会行政視察
- * 秋田県市議会議長会臨時会
- * 秋田県知事との行政懇談会
- 17日* 新潟県村上市議会行政視察
- 18日* 市当局との連絡会議
- * 会派代表者会議
- 29日* 長野県佐久市議会行政視察



雇用と福祉、椎川塾創設について

会派 政和会
村上 亨 議員



質問 少子高齢化と人口減少が急速に進む中で、市の明瞭な将来ビジョンを伺いたい。

答弁 課題解決に求められるのは、「地域力の創造」にあると考えており、新しいまちづくりのビジョンとなる次期総合計画に重要課題として捉えて参りたい。

質問 雇用の場について。

答弁 採用枠確保の要請や企業への雇用奨励助成金制度の情報提供、中途採用への奨励金制度など関係機関と連携し、切れ目のない雇用対策を講じていく。

質問 子育てしやすい環境整備について伺いたい。

答弁 子育て支援のために様々な施策を行っているが、県内各市と比較しても手厚いものとなっており、広く発信して定住化を図っていく。

質問 国の在宅医療介護への対応について伺いたい。

答弁 国・県における事業の進捗状況を見極めながら、医療と介護が緊密に連携し、24時間切れ目なくサービス提供できる支援体制を推進していく。

質問 本市出身の元総務省地域力創造審議官、前自治財政局長である特別顧問椎川忍氏による椎川塾創設について伺いたい。

答弁 氏自身もまちづくりの核となる人材育成に意欲を持っており、今後じっくり取り組んで参りたい。

質問 高齢者の通院・買い物のための予約制のデマンド交通拡大について伺いたい。

答弁 今後、公共交通形態との整合性を考えながら拡大を検討して参りたい。

豊前守満茂本城城入城400年について

会派 フォーラム輝
本間 明 議員



質問 豊前守満茂が赤尾津城（現在の松ヶ崎、岩城亀田）から本城城に入城して400年を迎える。記念行事などの計画について伺う。

答弁 本市は、1602年から1622年までの20年間、山形城主最上氏によって治められた。当時最上氏は、重臣の本城豊前守満茂に統治を任せ、現在の本荘中心部の町割りや本城（本荘）城の基盤が建設された。この歴史事象を後世に伝え残すことは、私たちの責務であると考え。来年度迎える本城豊前守満茂の本城城入城400年については、市内の文化財関係団体が行う事業を支援するとともに、本

丸跡の修身館や資料館などの展示施設において、企画展や講演会を開催していく。

質問 本荘八幡神社祭典の大名行列巡行継続について、市の考えを伺う。

答弁 大名行列は神社の祭典であり、そのあり方については市として申し上げる立場ではないが、私としては、是非、復活してもらいたいと思っている。祭り行事の文化財指定と補助金については、文化財保護条例や規則、補助金交付要綱に従って行っている。補助金の運用については、信仰に基づく祭礼全般にわたる運営補助金としては難しい。祭り行事を構成している重要な伝統芸能の保存など、指定文化財としての本質的価値を有する部分は、補助金の対象としているところである。



本荘八幡神社の大名行列

11月

5日* 国と地方の協議の場等に関する特別委員会
7日* にかほ市・由利本荘市議会交流会視察研修



にかほ市・由利本荘市議会交流会視察研修

9日* 各期成同盟会県内要望
12日* 会派代表者会議
13日* 平成25年度予算に対する各会派提言
14日* 議会改革委員会
* 秋田県市議会議員研修会
15日~16日* 各期成同盟会中
22日* 議会運営委員会
* 議会基本条例に係る説明会

先送り事業の前倒しを

会派 市民ネット
土田 与七郎 議員



質問 来年度予算については総合発展計画の先送り事業（247件）を精査し、必要度の高い事業を出来る限り前倒しすべきでないのか。

答弁 先送り事業は住民要望や必要性の高い事業を改めて精査し、次期発展計画に新規事業と同じレベルで検討すると共に、平成27年度以降の5カ年程度の実施計画を示して参りたい。

質問 人・農地プラン策定では各地域農業の実情を把握しているJ Aとの関係も重要と考えるが、J Aとの連携は取れているのか。また策定により本市農業の目指すものは

答弁 プランでは持続可能な



高松市の小学校との交流

力強い農業を実現していくため、「未来の設計図」として作成するものであり、J Aとは集落座談会や様々な場面で協力、参画をお願いしており十分連携は取れていると考えている。今後の地域農業のあり方を協議し、「食料・農業・農村基本計画」に沿って担い手確保や特色あるブランド化などを図って参りたい。

質問 児童・生徒の交流事業（友好都市など）は市内3小中学校で実施され交流を通して多くの貴重な体験と共に多くのことを学んでいる。子供達のために交流事業を継続すべきと考えるが。

答弁 親交を深め協調性と郷土を愛する心を育む良い機会でもあることから、関係機関と連携を図り交流方法を考慮すると共に、今度の交流に工夫を加え、継続できるよう検討して参りたい。

由利本荘市史統合編の発刊について

会派 民主党
作佐部 直 議員



質問 1市7町には、各市町史があるが、由利本荘市として統合された歴史観は未だ確立されていない。

答弁 合併10周年を期に、簡易な統合編を発刊し、同じ歴史を生きる市民としての一体感を共有するべきではないか。

質問 本市は豊かな自然に恵まれ、風力、小規模水力、木質バイオマスなどの可能性が高い。積極的に本市を新工

業を進める。

ルギー特区への指定申請しようとする考えはないか。

答弁 既に特区となった他自治体では、規制緩和で企業誘致が進み、雇用の場の確保に効果が上がっている所もある。各種個別法で国・県との調整が必要となるが、特区の申請を前向きに検討して行きたい。



西目地域で稼働中の風力発電施設
写真提供:(株)ユースエナジー西目

質問 地域文化の象徴である国の史跡鳥海山をアピールするため、国民文化祭での全国に向けた表現方法の考えは。

答弁 多様な鳥海山文化の魅力の発信のため、人形劇、ミュージック、科学、童話に関するフェスティバルを柱に、米や酒などの伝統的な食文化を活かした事業や、棚田とわら、へびをテーマとした独創的な本市単独事業を検討し、全国に魅力を伝えていきたい。

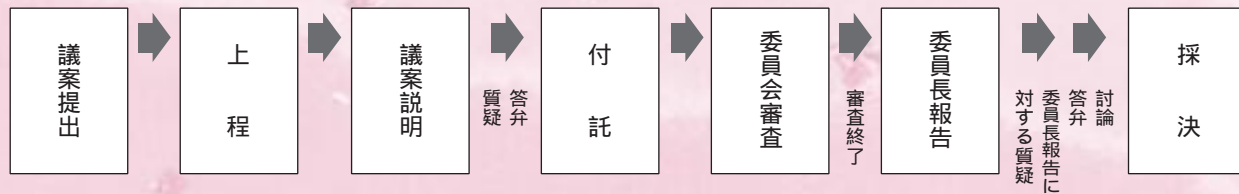
12月

29日* 教育民生常任委員会協議会
30日* 第4回定例会本会議
* 会派代表者会議
* 正副委員長会議
6日~7日* 第4回定例会本会議
6日* 会派代表者会議
7日* 議会運営委員会
10日~11日* 各常任委員会
13日* 国療跡地活用特別委員会
18日* 議会運営委員会
* 第4回市議会定例会
* 議会改革委員会
* 総務常任委員会
26日* 議会報編集特別委員会
* 議会改革委員会
* 議会報編集特別委員会

常任委員会報告(Q&A)

上程(議事日程に組み入れ、議題として審議の対象とすること)された議案は各常任委員会および特別委員会に付託されます。各委員会では、議案および報告事項について慎重に審議しています。

~ 議案審査の流れ ~



建設常任委員会

Q 市道猿倉花立線(鳥海グリーンライン)の全面通行止めについて伺う。
 A、アスファルト路面に亀裂が入っているのを確認し、通行止めとした。亀裂は雨水により地下水位の上昇で緩んだため徐々に広がっている。雪解けを待ち、ボーリング調査などを行い工法を検討する。現段階では復旧の目的がたつておらず、大変ご迷惑をおかけしているがご理解願いたい。

Q 住宅リフォーム資金助成
 A、11月30日現在で894件の交付が決定している。また予算額1億2千万円に対し、補助金交付決定額は7766万2千円で1件当たりの平均額は8万6676円となっている。工事額の合計(事業効果)は、16億1063万3375円で一定の事業効果はあるものと受け止めている。

Q 由利橋「主塔(タワー)およびケーブル」の愛称募集について伺う。
 A、応募総数は129件で、地域別内訳は市内92件、市外37件(うち東京や大阪、長崎など県外33件)。年齢別では19歳以下30件、20代8件、30代18件、40代16件、50代18件、60代20件、70歳以上9件、不明10件。
 地元町内会や市観光協会など10名の選定委員による厳正な審査の結果、市内岩谷小学校の4年生が応募した「由利タワー」に決定した。他に「子吉川ウイング」「鳥海ツインタワー」「ポートタワー」



亀裂が入り通行止めとなっている鳥海グリーンライン

産業経済常任委員会

Q 補正予算に韓国ドラマ(アリス2)撮影サポート事業の、1020万円が計上されているが、その内容は。
 A、県を中心とする韓国ドラマ秋田サポート委員会への負担金が20万円、本市がロケ地に決定した場合の韓国ドラマ由利本荘地域サポート部会への負担金1千万円を計上している。ロケに係る支援は宿泊関係に400万円、食事関係に400万円、また交通・警備関係に200万円を見込んでいる。

Q 韓国ドラマロケのサポートにおいて、10日間で100人のロケに対し、積算単価が高すぎないか。ロケ地に漏れた場合は予算全額を減額するか。
 A、あくまで概算の積算であり、掛かった経費で精算する予定である。ロケ地に漏れた場合は予算全額を減額する。

Q 本市には、世界に誇る鳥海山という観光資源がある。韓国ドラマロケは冬期間の予定だが、雪上車やスノーモービルを活用するなどして本市事業の執行状況について伺う。
 A、砂の再利用を図り、ごみと砂を分別することにより、廃棄物処理量を縮小する努力をした。その後、県の指導などにより、砂の再利用が可能となつた。砂を含まないが、見通しが甘かつたのではない。



国療跡地に仮置き中の災害廃棄物の状況を現地調査

教育民生常任委員会

Q 低所得の年金受給者に対して、「福祉的給付」として年金を加算支給することがあるが、法制化されたか。
 A、「年金生活者支援給付金法」が、平成27年10月より施行される。これにより、住民税非課税世帯で年金収入とその他の所得の合計が77万円以下の年金受給者に、保険料納付期間に応じて最大5千円が支給される。
 また、保険料免除期間がある場合には、別途加算される。

Q 医師確保のための奨学金予算の減額の理由は何か。問題があると思えば何か。
 A、高等学校に出向き、制度の内容説明をしているが、類似事業を県もやっている。現行条例では、就職先が限定されている状況なので、幅の広い県の制度を利用するのはないか。条例の内容整備も含め良案がないか指導をお願いする。

Q 介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める意見書提出について伺う。
 A、平成21年10月から実施の処遇改善交付金制度は、この度の報酬改定で介護報酬に組み込まれたが、27年3月31日までの間とされている。人材確保のため、今後も継続的に介護職員の処遇改善は図っていかねばならないと考えている。また、看護師など介護職員以外の職員も人手不足など厳しい環境にある。



委員全員一致で採択とし、国に意見書を提出することとした。

総務常任委員会

Q 市特別職「特別顧問」の報酬の根拠と所管事務について、市長、職員のみならず、市民、議員も加えた助言・提言を頂くようにすべきではないか。
 A、年額130万円を超えない額とし、根拠は、基本報酬100万に加え、6回ほどの助言などのための来庁をお願いし指導を仰ぎたい。1回当たり5万円を計上した。特別顧問の設置規則の所管事務に関しては実態に合ったように修正したい。

Q 高齢者の投票所へ足を運ぶのが大変だとの声がよく聞かれる。今回の衆議院議員総選挙の投票所数は、期日前投票が増えているようだが。
 A、投票所数は平成23年の県議会議員一般選挙と同じ90箇所、期日前投票は3割に上り、県内でも上位である。

Q YBネットの今後の方針については、NTT移行により新たな工事が必要か。
 A、現在、情報関係の2つの特別会計があることを解決し、出についての陳情を審査するにあたって、現状説明を求めた。
 Q 地域協議会のあり方として、何を求めているのか。団体の代表者もいるが、個人の意見が多く、フィードバックも無いのでは。
 A、最近市からの報告のみの傾向もある。委員には団体に持ち帰ってというようない、声を届ける役割を希望している。



本荘地域協議会

条例・予算など44件を承認・可決

一般会計補正予算 9,180万7千円を減額

《条例関係》地域主権改革一括法による条例の制定及び改正など

平成24年第4回市議会定例会（12月）は11月30日から12月18日までの日程で開催されました。今定例会への提出議案は、最終日に追加提出された議員発案2件、委員会発案3件を含め、専決処分報告3件、人事案件2件、条例関係15件、各会計補正予算関係14件、契約関係などのその他案件5件の計44件が上程され、各案件が慎重審議された結果、原案通り承認・可決しました。また、陳情2件を不採択としたほか、継続審査中の「公的年金の改悪に反対する意見書提出の陳情」についても、みなし不採択としました。

また、国療跡地活用事業について審査・調査を行う「国療跡地活用特別委員会」を設置し、13人の委員を選任しました。（委員構成は12ページに掲載）

補正予算の主なもの

一般会計

一般会計の歳入歳出それぞれ9180万7千円を減額し、総額を482億3953万3千円とするものです。

総務費
 衆議院議員総選挙費 5693万7千円
 衆議院議員総選挙啓発費 13万2千円
 特別顧問委嘱事業 60万4千円
 耐震改修工事に伴う庁舎等整備事業 189万9千円

交通環境整備事業（コミュニケーションバス） 225万2千円
 民生費
 福祉医療支給事業 1847万9千円
 障がい者自立支援費（介護給付費・訓練等給付費） 9325万1千円
 高齢者雪対策検証事業 40万
 衛生費
 医師研修資金貸付金 240万円
 医師確保奨学資金貸付金 1040万円

土木費
 深持ため池埋立・流末水路改修事業 370万円
 市道掘切・雷田・長坂線横断暗渠付け替え事業 1566万6千円
 由利橋架替事業 3億1129万8千円
 由利橋竣工式・渡り初め 53万9千円
 排水路洗掘応急対策事業 101万6千円
 教育費
 全国大会以上出場補助金 149万8千円

農林水産業費
 環境保全型農業直接支払対策事業補助金 405万9千円
 ミルジー修繕 195万円
 木質パウダー実証試験費 96万円
 商工費
 観光誘客促進事業（韓国ドラマ撮影サポート事業） 1020万円
 土木費
 災害復旧費 709万5千円
 漁港災害廃棄物運搬処理事業 709万5千円

特別会計

国民健康保険
 平成23年度療養給付費等負担金精算返還金 1億6786万8千円
 後期高齢者医療
 保険基盤安定制度負担金の確定 2396万9千円
 情報センター
 伝送路支障移送費用 1386万8千円
 下水道事業
 事務費確定見込みによる減額 4035万8千円
 集落排水事業
 汚泥汲取手数料の追加 1064万5千円
 簡易水道事業
 国庫補助事業交付額決定による減額 1505万7千円
 スキー場運営
 繰越金の計上 1255万8千円

企業会計

水道事業
 由利橋配水管添架に伴う負担金の追加 2546万円
 ガス事業
 原料費の追加 1596万5千円

人事案件

人権擁護委員の推薦
 菊地 洋氏
 （中田代・再任）
 鈴木 久男氏
 （東中沢・再任）

条例関係（主なもの）

市が管理する市道の構造の技術的基準等を定める条例の制定
 地域主権改革一括法による道路法及び高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部改正に伴い、市道の構造の技術的基準等に関する事項を定めるもの。
 市準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準等を定める条例の制定

地域主権改革一括法による河川法の一部改正に伴い、準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準等に関する事項を定めるもの。

市廃棄物の処理及び再利用並びに清掃に関する条例の一部改正
 本荘清掃センター基幹改良に伴い、一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等に関する規定を整備するためのもの。

その他案件（主なもの）

24災第3号一級市道二古亀田線道路災害復旧工事請負変更契約の締結
 工事施工中の降雨の影響による法面の亀裂発生等の緊急対策として、244万4400円を増額して、契約額を2億1307万4400円とするもの。

由利橋架替事業上部工事請負変更契約の締結
 照明設備工事精査の結果、施工量を減じて80万8500円を減額して、契約額を23億

8352万6250円とするもの。

陳情

今定例会には、7件の陳情のほか、継続審査中の陳情1件が審査され、うち、3件が採択、3件が不採択、2件が継続審査となりました。

採択

・オスプレイの配備と秋田県上空での飛行撤回を求める意見書提出の陳情
 （秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中村 秀也 秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章）

・介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める意見書提出の陳情
 （秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村 秀也）
 ・「ゆきとどいた教育」の前進を求める意見書提出の陳情
 （秋田県ゆきとどいた教育をすすめる会 会長 沼田 敏明）

不採択

・消費税増税に関する意見書提出の陳情
 （秋田県商工団体連合会 会長 小玉 正憲）

・年金引き下げの中止を求める意見書提出の陳情
 （秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章 秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳 全日本年金者組合秋田県本部 執行委員長 渡辺 雅子）

みなし不採択

・公的年金の改悪に反対する意見書提出の陳情
 （全日本年金者組合秋田県本部 本荘由利支部 執行委員長 菊地徳右衛門）
 前回の請願・陳情と同一の議決があったものとみなして取り扱うもの。

継続審査

・「教育費無償化」の前進を求める意見書提出の陳情
 （秋田県ゆきとどいた教育をすすめる会 会長 沼田 敏明）

・生活保護基準の引き下げをしないことを求める意見書提出の陳情
 （秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳）

意見書

今定例会で、議員発案による意見書2件と、今回採択された陳情の委員会発案による意見書3件が可決され、関係機関に送付されました。

議員発案

・地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書
 ・地域経済活性化と雇用対策強化のための地方財政の充実を求める意見書

委員会発案

・オスプレイの配備と訓練飛行の撤回を求める意見書
 ・介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める意見書
 ・「ゆきとどいた教育」の前進を求める意見書

議長公務・交際費 報告 (平成24年10月～12月分)

公務報告

月	日	行 事	
2	火	市老人クラブ大会	
5	金	北海道北見市議会行政視察 「P & Gミューラーにしめ」創立15周年記念感謝祭	
6	土	秋田県立本荘高等学校創立110周年記念式典・記念講演・祝賀会 本荘由利少年武道(柔剣道)錬成大会【柔道の部】	
7	日	本荘地区(東部・中央・西部地区)敬老会	
10	11	木	「安全安心まちづくりフォーラム in 由利本荘」(兼)地域安全ネットワーク推進交流会 「東証上場の森」講演会
12	金	秋田県立西目高等学校創立70周年記念式典・記念講演・祝賀会	
13	土	秋田県立由利工業高等学校創立50周年記念式典・記念講演・祝賀会	
15	月	秋田県市議会議長臨時会(秋田市) 秋田県知事との行政懇談会(秋田市)	
17	水	市老人クラブ連合会「親睦8人制バレーボール大会」開会式 新潟県村上市議会行政視察	
18	木	市当局との連絡会議 会派代表者会議	
21	日	露国遭難漁民慰霊碑建立20周年記念慰霊祭/歓迎会 あまさぎワインまつり	
25	木	市由利原浄水場建設事業竣工通水式/竣工式及び祝賀会	
26	金	全国和牛能力共進会(～29日)	
31	水	岩城・松ヶ崎統合小学校建設事業安全祈願祭並びに起工式(佐世保市)	

月	日	行 事	
1	木	国民文化祭市実行委員会総会	
5	月	国と地方の協議の場等に関する特別委員会(東京都)	
6	火	羽越本線高速化シンポジウム	
7	水	にかほ市・由利本荘市議会交流会視察研修(北上市)	
9	金	各期成同盟会県内要望(市内・秋田市)	
10	土	直根小学校閉校記念式典/感謝の集い	
11	12	月	会派代表者会議 市商工会会員大会
13	火	平成25年度予算に対する各会派提言 議会改革委員会	
14	水	秋田県市議会議員研修会(秋田市) 羽越本線高速化促進大会(東京都)	
15	木	日本海沿岸東北自動車道沿線市町村建設促進大会(東京都) 国道7号下浜道路に関する情報交換会(東京都)	
17	土	各期成同盟会中央要望(東京都・仙台市)(～16日)	
19	月	笹子小学校閉校記念式典/記念碑除幕式/笹子小を語る会 全国和牛能力共進会報告会 準チャンピオン牛を味わう会	
22	木	議会運営委員会 議会基本条例に係る説明会 由利本荘・にかほ北都会講演会(にかほ市)	
26	月	由利橋「主塔(タワー)およびケーブル」愛称選定委員会 市財産区議員・委員大会	

月	日	行 事	
11	30	金	市議会定例会本会議(開会) 会派代表者会議 正副委員長会議 市議会各議員連盟合同総会/議員互助会総会
6	木	市議会定例会本会議(一般質問)(～7日) 会派代表者会議	
7	金	議会運営委員会	
8	土	西目高校サッカー部全国大会出場 激励会	
10	月	本荘あきぎん会総会・講演会 市議会定例会各常任委員会(～11日)	
13	木	議会改革委員会	
16	日	高橋宏幸賞・童話秋田県コンクール表彰式	
18	火	議会運営委員会 市議会定例会本会議(閉会) 議会改革委員会	
20	木	新春あきぎん収録(広報・ケーブルテレビ)	
22	土	高橋久氏瑞宝双光章受章を祝う会 会派代表者会議	
25	火	議会基本条例(案)説明会 本荘由利広域市町村圏組合平成23年度決算等説明会 本荘由利広域市町村圏組合議会定例会(12月)	
31	月	全国高校サッカー選手権大会西目高校応援(VS米子北高校 鳥取)(横浜市)	

交際費報告

月	日	支出内容	支出額	
2	火	北海道北見市議会行政視察へ寸志	5,145	
5	金	「P & Gミューラーにしめ」創立15周年記念感謝祭会費	3,000	
6	土	秋田県立本荘高等学校創立110周年記念祝賀会会費	5,000	
7	日	本荘地区(東部・中央・西部地区)敬老会へ御祝い	3,400	
12	金	秋田県立西目高等学校創立70周年記念祝賀会会費	3,000	
13	土	秋田県立由利工業高等学校創立50周年記念祝賀会へ御祝い	5,000	
17	水	新潟県村上市議会行政視察茶菓子代	1,480	
21	日	露国遭難漁民慰霊碑建立20周年記念慰霊祭歓迎会費 東京地区大内会総会・懇親会へ寸志(伊藤順男議員代理出席)	5,000 10,000	
25	木	市由利原浄水場建設事業竣工祝賀会会費 議長名刺印刷代	6,000 7,000	
26	金	市身体障害者福祉大会へ寸志(土田副議長代理出席) 全国和牛能力共進会意見交換会会費	3,400 10,000	
27	土	日本海沿岸東北自動車道(金浦～仁賀保間)開通記念祝賀会会費(齋藤建設常任委員長代理出席) 全国和牛能力共進会壱岐市視察お土産代 中学生の「税についての作文」議会議長賞賞品代 市米まつり議会議長賞賞品代 本荘由利発明工夫展議会議長賞賞品代 市工芸品展議会議長賞賞品代	2,000 4,515 3,000 26,250 3,100 4,290	
29	月	長野県佐久市議会行政視察茶菓子代(土田副議長代理出席)	925	
11月	3	土	ふるさと鳥海の会懇親会へ寸志(佐藤謙司議員代理出席)	10,000

月	日	支出内容	支出額	
10	土	直根小学校閉校記念感謝の集い会費	4,000	
12	月	市商工会会員大会へ寸志	3,386	
17	土	笹子小を語る会会費	3,500	
11	18	日	関東地区西目会総会へ寸志(佐々木隆一議員代理出席)	10,000
19	月	市民生委員・児童委員活動交流会懇親会会費(土田副議長代理出席)	4,000	
22	木	全国和牛能力共進会報告会会費	10,000	
23	金	由利本荘・にかほ北都会懇親会へ寸志 本荘ふるさと会懇親交流パーティーへ寸志(佐藤賢一議員代理出席) 由利中学校同窓会東京支部懇親会へ寸志(村上亨議員代理出席)	5,000 10,000 10,000	
26	月	市財産区議員・委員大会へ寸志	3,386	
12	8	土	西目高校サッカー部全国大会出場激励会会費	5,000
10	月	本荘あきぎん会へ寸志	5,000	
22	土	高橋久氏瑞宝双光章受章を祝う会会費	6,000	
26	水	年賀はがき購入代	2,250	

弔事 (円)			
件数	1件	支出額	3,000

各月の交際費合計(弔事除く) (円)			
	10月	11月	12月
件数	20件	11件	4件
集計額	111,505	73,272	18,250

森林・林業・林産業活性化議員連盟活動報告

当議連の目的である林産業の活性化を図るために、当議連役員は9月25日に県・市・森林組合の方々と、木質パウダー燃料施設とパウダーボイラー導入の進捗状況、路網の整備、国の施策の林業再生プランへの取り組み、森林環境税などについて情報交換を行いました。この会では現状を把握でき、今後活動する上で大変参考になりました。

また、10月16日に秋田市河辺の大型製材所アスクウッドを視察、その後、県林活議連会長の武田英文氏から「林業をとりまく状況と将来展望」と題して講演をいただきました。

近年、地球温暖化に対する再生可能エネルギーの創出など、森林・木材の重要性が認識されるようになりました。この機会を逃さず、目標達成のために、なお一層活発な活動を展開します。



アスクウッドの視察で説明を聞く参加議員

産業活性化議員連盟活動報告

11月16日、中小企業家同友会全国協議会副会長の国吉昌晴氏を講師に迎え、地域興しの演題で講演会を行いました。商工会では、この講演会を本市における中小企業振興基本条例制定の第一歩と位置付け、市、議員、地元中小企業者が基本的な理念と方向性を共有することが大切であるとの認識に立つものです。



国吉副会長の講演に聞き入る参加者

観光部会

10月16日、県庁において、民間出身の前田観光文化スポーツ部長よりお話を伺い、意見交換を行いました。県では、平成24年度から26年度にかけてJRRと連携したDCや国民文化祭などの大規模イベントが目白押しであり、これを契機として、人口が減少し全体的なパイが縮む中で、「ビジネスとして継続成長している本県観光産業の形成」を目指し、様々な取り組みを行っているようです。昨年の首都圏集中キャンペーンもその一環で、今年はDCが本番となり、「重点エリア観光再構築推進事業」の継続的実施を図ることとしていきます。また、地域資源を生かした商品開発、由利高原鉄道などの地方鉄道を生かした広域観光や国民文化祭に向けた取り組みなどを強化してゆくといいです。

DCはステイネーションキャンペーン(JRRおよび自治体・観光事業者協働の大型観光キャンペーン)



前田県観光文化スポーツ部長と意見交換を行う参加議員

関係私企業の請負契約などの状況報告

議会議員政治倫理条例にかかわる関係私企業との10万円を超える請負契約などについて、市長から11月30日付けで報告がありましたので次のとおり公表します。

関係する議員	請負人の氏名	事業名	金額	契約年月日または支払い年月日	契約期間または物品等納入期日
高橋 和子	秋田しんせい農業協同組合代表理事組合長 畠山勝一	物品などの購入	2,047,172円	平成24年7月31日	平成24年7月3日～31日
			1,698,217円	平成24年8月31日	平成24年8月1日～31日
		200,352円	平成24年9月28日	平成24年9月4日～28日	
		機械類の修繕	137,812円	平成24年9月21日	平成24年9月21日